

- ◆ 日時: 2013年4月26日(金) 18:00-20:00 場所: 神奈川大学 1号館 301号室
- ◆ 主催: 防災塾・だるま 司会: 山田(美)さん
- ◆ 談義の会参加者: 会員 28名 一般 9名 計 37名 (敬称略)
 - (会員) 池田、伊東、荏本、小原、菊地、窪田、小菅、高松、田中(伸)、中島、山口(昭)、山口(章)、白田、田中(喜)、中村(茂)、山田(美)、長沼、成松、田中(晃)、渡辺(巧)、宮川、高江須、佐々木、鈴木、石井(栄)、石井(邦)、磯野、新井田。
 - (一般) 小林、大坪、山崎、和泉、日守、野波、大村、岩楯、渡辺。

I. 「防災塾・だるま」活動概況

1. 総会報告(荏本塾長)

総会での荏本塾長あいさつ



総会議長: 山口(章)さん
参加者からの意見・質問を大切に、参加型の総会にしましょう。

- ◆ 本日午後の総会で、平成24年度の活動・決算報告と平成25年度の活動計画・予算案が審議され承認された。また、賛助会員制度導入に伴う規約改正と役員改選についても提案通り承認された。新年度を迎えて、みなさんと協力し一層活動を充実していきたい。(総会参加者: 会員 27名 一般3名 計30名)
- ◆ 神奈川大学は、平成27年度設立を目指して、地域と一体となって災害に備えるための防災・減災研究拠点「防災センター」の検討を進めており、防災塾・だるまの役割も期待されている。

2. 平成25年度活動計画について(中島さん)

- ◆ 定例会、談義の会、実践講座、首都圏の減災を考える会などの事業内容を充実し、運営の効率化もはかる。(5月から例会の時間割が変更となります!)
- ◆ 地域貢献事業では、地域防災・学校防災への協力講座などの新しい事業についてテーマ毎に委員会を組織して取組んでいく。防災教育資料の編集・管理も進める。
- ◆ 防災・減災に関する意見提案についても引き続き取組んでいく。



定例会司会: 高松さん
新年度を迎えて、様々な委員会や活動がスタートします。会員のみなさん、参加して役割を担ってください!

II. 定例会報告・だるま活動情報(高松さん)

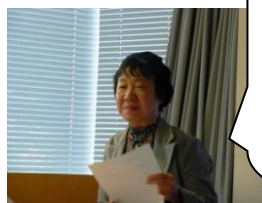
定例会参加者: 会員27名 一般3名 計30名

相模原市「さがみはら防災スクール」(加藤さん)

- ◆ 今秋から地域防災リーダー育成講座「さがみはら防災スクール」を開設し、防災士の資格取得(「防災マイスター」の称号付与)を支援する。

神奈川建築士会女性委員会ワークショップ(白田さん)

- ◆ 女性委員会・だるま共催で 7/20(土)にワークショップ「防災・減災を考えよう~HUG から学ぶ」を開催する。(建築士会防災委員会も共催予定)
- ◆ 先立って、ファシリテーター養成講座(5/9)、福祉避難所等の学習会(6/6)を実施する。



港中学校:平成25年度防災教室(高松さん)

- 方向性がまとまった。近々支援活動を開始する。
- ◆ 地域のマップ作りから地域の危険を知る。
- ◆ 職員への研修会(第1学期 講師:だるま) 生徒への学習会(夏休みはじめ、地区ごとに)
(夏休み:生徒によるマップ作成)
生徒による発表会(夏休み明け)

III. 防災まちづくり談義（「3.11 被災地をめぐる II 女川・石巻」報告会）

テーマ：東日本大震災から2年 被災地の今と声を地域に伝えよう ～明日の震災を生き抜くために～

- ・経緯：「被災地を巡る I(2012.3)」で行けなかった女川・石巻の訪問。
- ・参加者：21名 日程：3月24日(日)～26日(火)
- ・幹事：山田(美)・田中(喜)・田中(晃)さん 協力：「まみおの会」
- ・訪問先：現地の方々ときざまな交流をすることができました。
(女川) 女川商店街復幸祭、きぼうの鐘商店街、うみねこハウス、
門脇小学校、大川小学校、旧町立病院、阿部養建設など。
(石巻) 石巻社協、石巻ニューズ(石巻日日新聞)、石巻観光協会など。

総合司会：

山田(美)さん



幹事の田中(喜)さん(右)・田中(晃)さん(左)

(皆さんの報告を報告書にまとめる予定)

～交流を通じて見たこと、感じたこと～

- ◆町おこしや産業復興に頑張っている方々、支援する様々な人たち・団体、高齢化する仮設住宅を「みまもる」人たち、みなさんからたくさんのお話を学んだ。
- ◆寒さ、食料もない、空き地に寄り添い、分担を決めて支え合うことから始まった避難生活。新聞社は手書きで翌日から再開。災害エフエムは仮設放送局から。みんなが頑張った。自分たちの震災への備えはできているのか、改めて考えさせられるツアーだった。
- ◆「子供たちの命を守る」をテーマに参加。震災時に何ができるか、小学校との交流を通じて学び、考えた。



荻本塾長：現地で見たと聞いた声を自分たちに結びつけて考え、今後の行動に生かしていきましょう。

- ◆復興には時間がかかる。住民の意見を反映するプロセスと自立に向けて支援する社会的仕組みをつくる時期に来ている。
- ◆復興には解決しなければならない課題が残っている。地積調査などの難しい課題にも行政として目を向ける時期に来ている。



幹事の皆さん、協力いただいた「まみおの会」の皆さん、ありがとうございました！

IV. 今後の予定

1. 平成25年5月例会 5月24日(金) 場所：神奈川大学
だるま定例会 15:30～17:30 24号館 310号室
第96回防災まちづくり談義の会 18:00～19:30 16号館 視聴覚B
話題：横浜市防災計画「震災対策編」2013及び横浜市地震防災戦略について
講師：横浜市 総務局危機管理室 危機対処計画課長 小野寺 勝氏
(役員会：5/7(火) 資料準備：5/21(火) 10-12時 851荻本研究室)
2. 平成25年6月例会 6月28日(金) 場所：神奈川大学 1号館 301号室
だるま定例会 15:30～17:30
第97回防災まちづくり談義の会 18:00～19:30 (話題：検討中)
(役員会：6/6(木) 資料準備：6/25(火) 10-12時 851荻本研究室)

《参考情報》

1. セミナー・講演会など

(1) 市民フォーラム「暮らしと環境保全 ～災害に学ぶ～」

5/11(土) 13:30-17:00 横浜市消費生活総合センター 100名 参加費 500円 申込み：メールまたはFAX

http://www.jseg.or.jp/02-committee/pdf/kankyo_130418_shiminforum.pdf

(2) 日本学術会議「リスクを科学する」フォーラム

5/18(土) 13:30-17:20 日本学術会議講堂(乃木坂駅下車) 300名 申込み不要・無料

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/154-s-0901.pdf>

(3) 神奈川大学特別講演会「東日本大震災から3年目を迎えて ～大規模災害と大学の使命～」

6/15(土) 13:30-16:30 神奈川大学 16号館視聴覚ホールB 80名 無料

<http://www.ku-portsquare.jp/site/course/detail/588/>

基調講演：「三陸集落の復興計画および復興支援から見る復興過程の問題点」

(講師：神奈川大学工学部教授 重村 力氏)

パネル討論：「東日本大震災の調査・支援から考える大学にとっての使命」

(神奈川大学教授：重村 力氏、荏本孝久氏、田上 繁氏、佐藤孝治氏)

(4) 公開シンポジウム「リククマネジメント研究の過去・現在・未来」の開催について

6/28(金) 13:30-16:30 日本学術会議講堂(乃木坂駅下車) 無料

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/169-s-1-3.pdf>

(5) 「再生への道 地元紙が伝える東日本大震災」展

展示：3/9(土)～6/16(日) 日本新聞博物館(みなとみらい線日本大通駅下車) 入館料あり

記念シンポジウム「東北再生に向けた新聞の役割」:

5/18(土) 13:30-16:00 日本新聞博物館 120人 入館料あり 申込み：メールまたは往復はがき

<http://newspark.jp/newspark/floor/info.html>

2. 総会・定例会参加者 会員27名 一般3名 計30名(敬称略)

(会員) 池田、伊東、荏本、小原、菊地、窪田、小菅、高松、田中(伸)、鶴谷、中島、山口(昭)、山口(章)、白田、田中(喜)、中村(茂)、山田(美)、成松、田中(晃)、宮川、加藤、高江須、佐々木、石井(邦)、福田、河野、磯野。

(一般) 小林、大坪、山崎。